河内地区白山市ミライ会議

1. 会議概要

項目	内容
開催日時	令和8年6月27日（土）14:00～
開催場所	かわち保健センター
参加者	9名（市長、河内地区まちづくり協議会）
選択トピック	令和7年度ミライ会議の課題から 1. 地元の子どもたちを地元で育てていくための活動場所の確保 2. 防災活動の推進



2. 主な議題と意見

（1）地元の子どもたちを地元で育てていくための活動場所の確保





① 現状

- 河内地区の人口は過去 10 年で約 20%減少しており、特に 20～49 歳の人口が 39%減少している
- コミュニティセンター（かわち保健センター内）の施設利用については、ホームページに掲載されている情報が不十分で、具体的な利用方法が分かりにくい状況にある
- 保健センター建物内にコミュニティセンターがあるため、申請時に保健センター窓口を経由する必要があり、利用しづらい雰囲気がある
- 現状では、大人向けの生涯学習関連の活動は行われているが、子どもたちを対象にした活動はほとんど行われていない

② 課題

- ホームページの情報が分かりにくく、どのような部屋が使えるのか、具体的な利用方法が明確でなく、施設利用の周知方法の改善が必要
- 各地域でコミュニティ活動への若い人の参加が少なく、参加している人が一人何役にもなって疲弊しているため人材の確保が必要
- 子どもたちの活動場所の不足しており、中学生や高校生が長期休暇中に集える場所がなく、子ども食堂のような取り組みができる施設が必要

③ 市の主な方向性・回答・対応

- 施設利用については、コミュニティセンターと同様の活動であれば、保健センター条例に基づきながらも、使用料減免措置を適用して対応する
- ホームページの周知方法については、担当部署と調整を進めて改善を図る
- 保健センターとコミュニティセンターの連携を強化し、利用しやすい環境を整備する

（2）防災活動の推進





① 現状

- 河内地区は山に囲まれており、土砂災害のリスクがある。過去に吉岡の奥で土砂災害が発生している
- 住民全員が災害時に自分の意思で逃げられるような防災意識が十分ではない
- 登山道の整備については、参加者の高齢化が進み、令和7年度は13人の参加があったが、令和8年度は中止となった

② 課題

- 河内地区が決して安全な場所ではないことを住民に認識してもらい、防災意識を高める必要がある
- 登山道の草刈りボランティアの高齢化が進み、活動の継続が困難になっており、登山道整備の担い手が不足している

- 河内小学校の駐車場と旧寄宿舎の間にある砂利の場所は、大きな石が転がっており、子どもが入れない状態であるが、この場所を活動に使えるようにしたい

③ 市の主な方向性・回答・対応

- 防災意識を高めるための取り組みとして、運動会や文化祭などの人が集まる場所を活用し、防災情報を発信する
- 白山市防災ポータルなどの情報ツールを活用し、避難所の状況や気象情報を提供する
- 登山道の草刈りについては、地元での実施が不可能となった場合は、草刈りの範囲も含めて協議検討する
- 学校周辺の土地利用については、学校やコミュニティセンター、サービスセンターと一体となった事業についての利用を前提に今後検討する

---

3. まとめ

河内地区は、今年度から「参加から参画へつながる河内の創造」を目指して取り組むことを掲げ、地区住民とコミュニティ組織のあり方、活動の周知方法及び参画する人材の確保の取り組みや、防災意識を高めるための運動会や文化祭での仕掛けづくりなど、さらなるコミュニティ強化に取り組んでいる地区です。

今回のミライ会議では、地元の子どもたちを地元で育てていくための活動場所の確保と、土砂災害のリスクに対応した防災活動の推進という2つの課題について、具体的な話し合いを行いました。

市としましては、今後も地域と一体となって取り組むことで、地域の活性化に努め、コミュニティセンター施設のホームページ改善と利用の自由度向上、また、中学生や高校生が長期休暇中に集える場所の確保に向けた環境整備を進めるとともに、防災訓練やドローンを活用した孤立集落対策など、防災体制の充実を図ることを確認しました。

